学校番号	1004

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	古文講読	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「古典探究古文編」（筑摩書房）						
副教材等	「四訂版 力をつける古文ステップ３」（数研出版） 「九訂版　読解をたいせつにする　体系古典文法」（数研出版） 「新版　理解を深める核心古文単語 351」（尚文出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・これまで学習してきた「言語文化」や「古典探究」の授業より、さらに深く古文と向き合う科目です。
・授業を通して、先人のものの見方、感じ方、考え方を捉えて内容を解釈し、それを踏まえて自身のものの見方や感じ方、考え方を深め、現代に生きるみなさんの課題発見、解決につなげてください。
・古文を読む際は、作品に親しむとともに、正しく心情等を理解するために語彙や文法の知識を身に付けてください。
・作品そのものだけではなく、作者や時代の背景、歴史、関連する他の作品など、様々なつながりを意識しましょう。
・国語の特徴的な語句や表現技法を学び、自分の体験や思いを効果的に伝えるための工夫ができるようになりましょう。
・話し合いや文章記述、発表など、課題に対して、自ら考え、周りの人と協働で考える活動を取り入れた授業を行います。また、繰り返し問題演習も行います。
・予習として必ず本文を読んでおきましょう。授業の後には内容を振り返って復習してください。提出物の期限は守りましょう。授業中は板書を書き写すだけでは、評価の対象になりません。自分の考えや、周りの人の意見なども記入していきましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古文を通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	古典に表現されている世界を通して、論理的に考える力や強く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝えある力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしている。古典に親しむことで、現代まで継承されてきた言語文化を理解し、生きたものとして、自らの生活に関連付けようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	日記 ［教材］「夢よりもはかなき世の中を」（和泉式部日記）	a：本文中の助動詞や敬語の用法などの文法事項を理解している。 b［　読　］：三人称的な視点で語られる日記文学という文章の種類をふまえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c：日記文学であるが、物語ふうの記述が特徴的である本文を読み、積極的に自分の考えを広げたり深めたりしようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	説話 ［教材］「賀茂の祭りを見物する翁」（今昔物語集）	a：・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方についてりかいを深めている。 b［　読　］：文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c：それぞれの登場人物の心情について文章にまとめようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	評論 ［教材］「おもて歌」（無名抄）	a：語句の量を増やし、語彙を豊かにし、文語のきまりについて理解している。 b［　読　］：歌論という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉えている。 c：歌論を読み、和歌に関する多様な評価基準について理解を深めようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート

	随筆 ［教材］「里にまかでたるに」（枕草子）	a：本文中の古文重要語句の意味や用法を理解している。 b［　読　］：・作者が感じたことに留意しつつ、作品の内容を読み取ろうとしている。 c：作者のものの見方，感じ方，考え方を読み取って伝えようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
二学期	物語 ［教材］「心づくしの秋」（源氏物語）	a：文語のきまりや訓読のきまりについて理解している。 b［　読　］：長編物語という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉えている。 c：漢詩引用の効果について調べ、今までの学習を生かして調べたことをまとめようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	近世の文学 ［教材］忍び扇の長歌（西鶴諸国ばなし）	a：時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めている。 b［　読　］：古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することをとおして自分の考えを広げたり深めたりしている。 c：古典に興味をもち、多角的な視点から言語文化について自分の考えを広げたり深めたりしようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	物語 ［教材］「中宮安子の嫉妬」（大鏡）	a：本文中の古文重要語句の意味や用法を理解している。 b［　読　］：作品中の人物像を読み取り，人物の心情について考察している。 c：登場人物の人物像と心情を理解し、物語の展開に対し理解を深めようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
三学期	評論 ［教材］「師の説になづまざること」（玉勝間）	a：他の作者の随筆と比べて，宣長の文章がどのような特徴があるか理解している。 b［　読　］：作者の考え方を踏まえ，学問に対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 c：評論に表れる作者の考え方に対する自分の考えを文章にまとめようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準ｂ［　］について…括弧内には［　話／聞、書、読　］のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　　）時間

・読むこと　…　（　７０　）時間